

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21106	中国語 Chinese language	鈴木 尊士			1	選択	1後期
科目の概要							
初めて中国語を学ぶ学生を主な対象とする授業です。（ディプロマ・ポリシー①③④に相当する） 中国語の基礎（中国語の発音要領と表記法、基本語彙、文の構成原理＝単語の並べ方、基本文型）を学びます。（ディプロマ・ポリシー②に相当する） 中国語の基礎力（声に出して読む力、書く力、話す力、聞く力）の習得を目指します。（ディプロマ・ポリシー②に相当する） ・中華圏の文化と社会に触れながら授業を進める。 ・中国及びその他の華人社会、文化、習慣などを理解しようというきっかけになる。（ディプロマ・ポリシー⑥に相当する） 中国語を修得する中で自己研鑽し、国際社会の中で生きる力を育成する。（ディプロマ・ポリシー⑥に相当する）							
学修内容				到達目標			
① 中国語発音の仕方、四声の区別と簡体字を認識する。 ② 日常のシチュエーションについて学び日常会話と挨拶を理解する。 ③ 発音記号PINYINについて知り朗読する。 ④ 基本文型により作文をする。 ⑤ pisa型学力を活かして、自分の作文を発表する				① PINYINと四声を理解することができる。（ディプロマ・ポリシー②④に相当） ② 日常会話と簡単な挨拶ができるようにすることができる。（ディプロマ・ポリシー②④⑥に相当） ③ 発音記号PINYINを読んで会話文（スキット）を朗読することができる。（ディプロマ・ポリシー②③④⑥に相当） ④ 基礎的な文法を利用し、「自己紹介」の文章を4センテンス以上作成することができる。（ディプロマ・ポリシー②④に相当） ⑤ pisa型学力を活かして、自分の言葉で中国語の「発表」をすることができる。（ディプロマ・ポリシー①②④⑥に相当）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	受け身ではなく、自ら積極的に授業参加し、通常点を獲得できる。 発音練習では、常に口をあけて、恥ずかしさを捨て、会話力を身に着ける。					
	働きかけ力						
	実行力	目標を達成するために、間違いを恐れず、練習のプランを立て、行動することができる。 練習の方法、習慣により、言葉の新しい表現が生まれ、目標を達成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	自らの会話力を冷静に判断し、上達する方法を仲間と一緒に練習し、改善することができる。					
	計画力						
	創造力	単語とフレーズの練習により、コミュニケーションを取る際に自分が言いたいことが伝わらない場合は言い換えをすることができる。					
チームで働く力	発信力	練習によって質問することができようになる。得意と苦手な部分を知り、自ら克服する方法を見つけることができる。					
	傾聴力	改善また上手になるため、教員の説明、また仲間のアドバイスを聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
・テキスト：「中国語ポイント55」本間史・孟広学 白水社 ・ISBN:978-4-560-06917-2 (¥2530税込み)							
他科目との関連、資格との関連							
特にありません。							
学修上の助言				受講生とのルール			
外国語はコミュニケーションツールの一つに過ぎない、しかしツールは多ければ多いほど競争に勝ち抜く武器にもなるし 世界の友達が増えるし、さまざまな国の文化理解も深まる。				・間違いを恐れず、口を開けて、声を出す。 ・先生、クラスの仲間達と一緒に練習しながら、自分にとって最適な学習方法を見つけよう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・ 短いフレーズの正確に応用表現できること。 ・ シチュエーションによつての簡単な中国語応答できること。 ・ 日本語から中国語、中国語から日本語へ文章が訳せること。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			口頭発表について： ・ 授業中学修してきた中国語の単語、文法、フレーズを応用し、学修した知識を生かし自らの言葉で河合することができる。 ・ 声の大きさ、発音、声調（四声）と言葉の正確さによって成績を判断する。 ・ 「自己紹介」を発表する。 ・ 毎回、スキット発表をする。 ・ 知識と技術を獲得しそれを活用し、課題を解決する方法を理解できているかどうかのpisa型学力も評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）正しい発音を習得するために、間違いを恐れず、大きな声で練習する。 （実行力）目標のために、学修プランを立て最後までやりきることができる。 （課題発見力）口をあけて練習し、見極めることができる。 （創造力）コミュニケーションを取るために言い換えることによって表現する。 （発信力）自己紹介の発表によって、言いたいことを見つける。 （傾聴力）正しい発音方法をゲットするために、一人ではなく教員と共に、仲間のアドバイスを聞き取ることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①積極的に授業に参加し、自己の意志表示ができる。 ②自己紹介の発表（声の大きさ、発音と四声正しく）する。 ③課題に対して積極的に答え、時間内に提出する。 ④小テストと通常評価。 ⑤スキッド発表で暗記をして、自然な会話ができています。 ①②③④⑤到達する人が（秀）の成績を獲得できる ②③④⑤到達する人が（優）の成績を獲得できる	①積極的に授業に参加する。 ②自己紹介の発表（声の大きさ、発音と四声）する。 ③課題に対して積極的に答え、時間内に提出する。 ④小テストと通常評価。 ⑤スキッド発表で時々つまることはあっても自然な会話ができています。 ①②③④⑤到達する人が（良）の成績を獲得できる ②③④⑤到達する人が（可）の成績を獲得できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	＜中国と中国語＞ ガイダンス 発音編1 1. 中国語のピンインと四声を理解する。 2. 母音の種類を把握し、習得する。	・講義・演習 ・スキット発表 ・必要に応じて質疑応答を行う。	・ガイダンスをしっかりと理化することができる。 ・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第1課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 規律性
2	第1課 発音編2 1. 中国語の子音を理解する。 2. 声調記号を習得する。 人称代名詞の導入	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。 ・PCを用いて中国の社会、文化について調べる。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第2課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 規律性
3	第2課 動詞、指示代名詞、疑問文の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第3課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 課題発見力 規律性
4	第3課 ・形容詞、所有を表す“有”、反復疑問文、副詞の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第4課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5	第4課 ・場所を表す代名詞、存在を表す“在”の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第5課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 傾聴力 規律性
6	第5課 ・数詞、量詞、“几”と“多少”の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第6課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。 PCを用いて中国のニュース等について調べてくる。	60	主体性 課題発見力 規律性
8	第7課 ・助動詞“要”・“想”、介詞“在”・“从”、完了を表す了的の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第8課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 傾聴力 規律性
9	第8課 ・助動詞“能”・“会”・“可以”、経験を表す“过”、時間の長さ・動作の回数の表し方の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第9課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
10	第9課 ・介詞“给”・“对”、動作の進行を表す“正”・“在”・“正在” ・動作・状態の持続を表す“着”の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第10課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 傾聴力 規律性
11	第10課 ・結果補語、様態補語、“还是”を使う選択式疑問文の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第11課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 傾聴力 規律性
12	第11課 ・方向補語、“把”構文、比較の表現の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第12課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 課題発見力 規律性
13	第12課 ・可能補語、二重目的語をとる動詞、“是～的”の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第13課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 創造力 発信力 規律性
14	第13課 ・主述述語文、助動詞“应该”・“得”、受身の表し方の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・小テスト ・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第14課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 実行力 創造力 規律性
15	第14課 ・謙語文、禁止の表し方“不要～”・“别～”の導入 ・単語を覚える ・日本語から中国語への訳	・スピーキングテスト ・スキット発表 ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・必要であればディスカッションやスキット以外の発表も行う。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。 ・スキット発表をして、会話が実演することができる。	(復習) ・総復習をし、覚えていない表現や単語をしっかりと覚え直す。	60	主体性 実行力 規律性
7	第6課 ・存在を表す“有”、連動分、月日、曜日、時刻の導入 ・単語を覚える ・ペアワーク ・日本語から中国語への訳	・オンデマンド ・講義・演習 (解説を聞き読む練習をする。単語を覚えたり、アクティビティを行う。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる) ・PCを用いて中国のニュースについて調べる。	・内容をしっかりと理解して、真面目に取り組むことができる。 ・会話練習時大きな声で練習をする。	(復習)・授業で習ったことを見直して、表現と単語をしっかりと覚える。CDを聞く。 ・単語を覚える (予習)・第7課のCDを聞き、読んでくる。 ・スキット発表に備えて準備する。	60	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力